

ガラッと賃金一新セミナー 2018

人が採れない・定着率が低いと悩んでいませんか？
～中途採用者の初任給までバッチリ！ 採用作戦の立て直しを～

講師 株式会社北見式賃金研究所 所長 北見 昌朗氏

セミナーの ねらい

労基法改正により「残業削減」を迫られそうですが、それには人材確保が必要。しかしながら現実には「求人難」で増員どころではありません。雇用の流動化で「定着率」も悪化。自社の賃金水準を改めてチェックする必要があるのではないでしょうか？ そこで中小企業の生の賃金データを集めている（株）北見式賃金研究所の北見昌朗氏を講師にした恒例のセミナーを開催します。講師は「ホドホドの仕事でソコソコの給与を払うワークライフバランス企業を目指すべきだ」と力を込めます。すぐ参考にできるノウハウ満載。「ヨソより多少でも良い給料を払ってあげたい」と想っている経営者の方は是非ご参加下さい。

セミナーにご参加いただいた方は、中小企業の賃金相場がわかるグラフ（年収・賃金総額・所定内賃金・基本給・年間賞与）・「ズバリ！ 実在賃金」の各種グラフをお持ち帰りいただけます。

対象

経営者
幹部

管理者

中堅
実務担当者

若手社員
新入社員

日時

平成30年
2月15日(木) 13:30～17:00

会場

OKB総研セミナールーム
(大垣市郭町2-25 Kixビル5階)

受講料

会員 5,400円
一般 12,960円 (消費税込み)

定員

40名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

講師プロフィール

平成7年に社労士事務所を開業。「社長、人を増やしたりいけませんよ」と助言しながら、増やしてしまっただけでなく30人以上も。最近では、育児休業で休んでいる職員とか、退職者とかが発生して募集するが、埋まらずに頭を抱える。職員から『社労士の仕事はハイレベルなのに、会社の賃金は低過ぎる』と不満を言われる羽目に。言い返したが議論は平行線。この悔しい体験から生まれたのが「ズバリ！ 実在賃金」。『賃金をきちんと払っている』とガツンと言いたい社長を援護射撃したい一心で創ってきた。著書は「幹部に年収1000万円を払う会社になろう」など多数。名古屋出身。昭和34年生まれ。



カリキュラム

1. コレが現実 最新の賃金情報
2. 今年の賃金改定はココがポイント
 - (1) 従業員が集まる会社になる
 - (2) 従業員が定着する会社になる
 - (3) 従業員がやる気を起こす会社になる
 - (4) 中高年の従業員がもっと頑張ってくれる会社になる
 - (5) 従業員が業績向上に協力する会社になる

受講申込書

必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りください。

会員No 一般 パスポート会員

貴社名

ご住所 〒

電話

お取引店

私(申込責任者)は下記「個人情報の取扱いに関する重要事項」を私と各参加者が確認し、承諾したうえで申し込みます。

■申込責任者名

※受講券は開催日1週間前までにご送付させていただきます。

セミナー開催日

ご参加者名

ご参加者名

ご参加者名

2/15

役職*1(在職年数)

役職*1(在職年数)

役職*1(在職年数)

(年)

(年)

(年)

*1 参加者属性に合わせたセミナーの内容とするために利用いたします。可能な範囲でご記入ください。

〈受講料のお支払い方法〉

【共立ビジネスクラブ会員様】会費のお支払い指定口座から自動振替いたします。

※お振り込みをご希望の会員様は、右欄にチェックしてください。後日、振込用紙(振込手数料お客様負担)を送付します。

【一般のお客様】お振り込みでのお支払いになります。後日、振込用紙(振込手数料お客様負担)を送付します。

受講料

お振り込み
に変更する

キャンセルについて

キャンセルの場合は、開催の前営業日までにご連絡ください。ご連絡のない場合、また当日キャンセルの場合は、受講料を頂戴いたしますのでご了承ください。

■個人情報の取り扱いに関する重要事項

1. (名称) 株式会社OKB総研 (連絡先) TEL / 0584-74-2611 2. ご記入いただきました個人情報は、株式会社OKB総研の「個人情報保護方針」(<http://www.okb-kri.jp/policy.html>) および「個人情報の取り扱いについて」(<http://www.okb-kri.jp/public.html>) に従い適切に取り扱います。3. (個人情報の利用目的) セミナーに関する申し込みの受付とその業務の運営管理のために利用いたします。4. お客様が本申し込みに必要な記載事項の記載を希望しない場合、および本重要事項の内容の全部、または一部を承諾していただけない場合、本申し込みをお断りすることがあります。